

## 第6回 人文学の挑戦

# 源氏物語を読んでみよう

—— 作家たちの現代語訳、漫画、英訳 ——

源氏物語を読んでみたいあなた、

与謝野晶子、谷崎潤一郎、円地文子らの現代語訳を読み比べてみませんか。  
一緒に**光源氏**と**朧月夜**の妖艶な出逢いの場面を味わいましょう。

### 概要

源氏物語を読んでみたいというあなた、どの本を選んだらよいか、迷っていませんか。それもそのはず、本屋には、与謝野晶子、谷崎潤一郎、円地文子、瀬戸内寂聴、林望、田辺聖子、橋本治などの作家たちの現代語訳の本が所狭しと並んでいます。それぞれの本にはどのような特徴があるのか、読み比べてみませんか。

まずは、源氏物語の花宴巻、光源氏と朧月夜との出逢いの場面を取り上げて、原文を読んで、その美しさを味わいながら、詳しく解説していきます。桜の宴果てたおぼろ月の夜、歌いながらやってくる女の袖を源氏がふと捉えて恋に落ちていくこの場面は、源氏物語の中で最も妖艶な場面と言われています。その後、この場面を様々な作家たちがどのように現代語訳しているのかを見比べてみましょう。漫画や英訳ものぞいてみましょう。朗読のCDも聴いてみましょう。源氏物語の本との素敵な出会いがあるかもしれませんよ。

### 講師

井野 葉子 (いの・ようこ)  
北海学園大学准教授



『源氏物語 宇治の言の葉』森話社、2011年



2015年8月23日[日] 15:00-16:30

紀伊國屋書店札幌本店 sapporo55ビル 1F  
インナーガーデン

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 ☎ 011-231-2131

参加無料

予約不要

